

午前九時〇〇分開議

○議長（高野正君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は9人です。定足数に達していますので、これから本日の会議を開きます。

報告します。3番、碓井議員から欠席届の提出があり、本日の会議は欠席です。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1 認定第2号 平成29年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第2号 平成29年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

平成29年度国民健康保険特別会計の規模は、歳入総額12億61,315,348円、歳出総額11億19,034,195円で、歳入から歳出を引きました差引額は1億42,281,153円で、実質収支額でございます。

1、2ページ、歳入の状況につきましては、歳入の予算額は12億20,913千円、歳入額は12億61,315,348円で、予算に対する収入割合は103.31%となっています。調定額13億7,699,711円に対する収入割合は96.45%でございます。

次に、3、4ページ、歳出の状況につきまして、歳出総額11億19,034,195円、歳出予算額12億20,913千円に対し、91.66%の執行率でございます。

7、8ページ、国民健康保険税の歳入額は2億34,303,971円で、前年度と比較いたしまして6,115,579円の減少で、調定額2億80,688,334円に対する徴収率は83.47%でございます。内訳は、現年課税分94.41%、滞納繰越分16.79%でございます。

なお、29年度の不納欠損額として8件、221,300円を処分しております。

また、現年課税分、滞納繰越分の徴収率につきましては、平成29年度特別会計決算の概要の1ページの2の歳入の状況、(1)の国民健康保険税の欄に医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分に区分して記載していますのでご参照ください。

使用料及び手数料は112,592円でございます。

9、10ページ、国庫支出金1億83,327,079円でございます。療養給付費等負担金、高額医療費共同事業負担金及び特定健康診査等負担金などがあります。うち国庫補助金は39,159千円でございます。

療養給付費等交付金は17,313,221円で、これは退職者医療に係るものでございます。

11、12ページ、前期高齢者交付金は3億33,065,515円で、対象は65歳から74歳までとなります。

県支出金は52,221,451円でございます。

共同事業交付金は2億21,901,643円で、高額医療費共同事業交付金は1件800千以上の高額レセプトに対して、また保険財政共同安定化事業交付金は、27年度から全ての医療費が交付対象となりました。

13、14ページ、財産収入は78,070円でございます。

繰入金は1億5,180,894円で、前年度と比較して4,014,114円の増加でございます。

繰越金は1億10,444,918円で、前年度と比較して52,613,621円の増加でございます。

諸収入は3,365,994円で、前年度と比較して1,466,849円の増加でございます。

次に、歳出の状況についてでございますが、19ページ、20ページ、総務費の歳出額は19,942,491円で、職員2名分の人件費、賦課徴収に係る費用、国保運営協議会費などが含まれます。

21、22ページ、保険給付費は6億41,590,389円で、歳出に占める割合は57.33%になります。

23、24ページ、後期高齢者支援金等は1億10,524,175円、前期高齢者納付金等は413,713円でございます。

25、26ページ、老人保健拠出金は2,511円、介護納付金は44,745,528円、対象年齢は40歳から64歳まででございます。

共同事業拠出金は2億42,077,006円でございます。

保健事業費は8,552,249円、27、28ページ、諸支出金は1,108,063円で、前年度と比較して9,260,086円の減少でございます。要因としましては、過年度療養給付費等負担金の償還金が減少したためでございます。

基金積立金は50,078,070円でございます。

なお、基金残高は65,696,500円でございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。5番、龍神議員。

○5番（龍神初美君） おはようございます。よろしくお願いいたします。

8ページの不納欠損額の8件の221,300円の差しさわりない程度で内容をお願いいたします。

○議長（高野正君） 税務課長。

○税務課長（谷輪亮文君） 龍神議員にお答えいたします。

不納欠損額8件、221,300円なんですけれども、生活保護受給が3件、居所不明が3件、あと財産の全くない方が2件でございます。

以上でございます。

○議長（高野正君） いいですか。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第2号 平成29年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第2 認定第3号 平成29年度美浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第3号 平成29年度美浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

平成29年度農業集落排水事業特別会計の規模は、歳入総額73,341,359円で、前年度87,868,640円と比較いたしまして14,527,281円の減額、率にいたしまして16.53%の減少でございます。

歳出総額は73,341,359円で、前年度87,868,640円と比較いたしまして14,527,281円の減額、率にいたしまして16.53%の減少でございます。差引額はゼロ円となりますので、実質収支額もゼロ円でございます。

歳入の状況につきまして、1ページ、2ページ、歳入の予算額は79,905千円、収入済額は73,341,359円で、予算に対する収入割合は91.79%でございます。調定額73,886,898円に対する収入割合は99.26%でございます。

5、6ページ、分担金及び負担金の歳入額は3,180千円で、前年度と比較いたしまして636千円の増加でございます。内訳は、和田農業集落排水処理区加入分担金2,544千円、入山・上田井地区処理区分担金636千円でございます。

使用料及び手数料の歳入額は47,658,304円で、前年度と比較いたしまして375,217円の増加でございます。調定額48,203,843円に対する徴収率は98.87%でございます。

繰入金の歳入額22,457,387円で、前年度と比較いたしまして2,657,682円の減少でございます。

諸収入の歳入額は90円で、預金利子90円でございます。前年度と比較いたしまして1,590,477円の減少でございます。

5ページから8ページにかけての財産収入の歳入額は、農林漁業集落排水事業元利償還金助成交付金を農業集落排水基金として積み立てた利子45,578円で、前年度と比較

いたしまして4,961円の増加でございます。

次に、歳出の状況につきまして、3ページ、4ページに戻っていただき、歳出の総額は73,341,359円で、前年度と比較いたしまして14,527,281円の減額、率にいたしまして16.53%の減少でございます。

歳出予算額79,905千円に対して、91.79%の執行率でございます。

9ページから12ページにかけての総務費の歳出額は46,033,306円で、和田処理区、入山・上田井処理区の管理運営費等でございます。前年度と比較いたしまして2,262,618円の増加でございます。

公債費の歳出額は27,262,475円で、内訳は、元利償還金22,118,817円と、利子償還金5,143,658円でございます。前年度と比較いたしまして3,402,860円の減少でございます。

基金積立金の歳出額は45,578円で、利子でございます。前年度と比較いたしまして9,175,039円の減少でございます。

なお、平成29年度特別会計決算の概要の11ページ、12ページに和田処理区及び入山・上田井処理区の管理費等の詳細を添付していますのでごらんください。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第3号 平成29年度美浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第3 認定第4号 平成29年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第4号 平成29年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

平成29年度公共下水道事業特別会計の規模は、歳入総額が1億32,952,711円、前年度1億51,423,383円と比較いたしまして18,470,672円の減額、率にいたしまして12.20%の減少でございます。

歳出総額は1億32,952,711円、前年度1億51,310,883円と比較い

たしまして18,358,172円の減額、率にいたしまして12.13%の減少でございます。差引額はゼロ円となりますので、実質収支額もゼロ円でございます。

収入の状況につきまして、1ページ、2ページ、歳入の予算額は1億34,719千円、収入済額は1億32,952,711円で、予算に対する収入割合は98.69%でございます。調定額1億33,407,972円に対する割合は99.66%でございます。

5、6ページ、分担金及び負担金の歳入額は2,385千円で、前年度と比較いたしまして677,500円の増加でございます。

使用料及び手数料の歳入額は49,273,969円で、前年度と比較いたしまして786,562円の増加でございます。調定額49,729,230円に対する徴収率は99.08%でございます。

県支出金の歳入額は40千円で、前年度と比較いたしまして542千円の減少でございます。

繰入金の歳入額は81,050,463円で、前年度と比較いたしまして2,006,966円の増加でございます。

繰越金の歳入額は112,500円で、前年度と比較いたしまして3,537,500円の減少でございます。

7、8ページ、諸収入の歳入額は72円で、預金利子でございます。前年度と比較いたしまして856,474円の減少でございます。

財産収入の歳入額は90,707円で、前年度と比較いたしまして5,726円の減少でございます。

次に、歳出の状況につきましては、3、4ページに戻っていただきまして、歳出総額は1億32,952,711円で、前年度と比較いたしまして18,358,172円の減少でございます。

歳出予算額1億34,719千円に対して98.69%の執行率でございます。

9ページから12ページにかけての総務費の歳出額は59,221,762円で、前年度と比較いたしまして31,148,091円の増加でございます。

公債費の歳出額は73,527,742円で、内訳は、元金償還金49,687,775円と利子償還金23,839,967円でございます。前年度と比較いたしまして1,285,040円の増加でございます。

基金積立金の歳出額は203,207円で、前年度と比較いたしまして693,226円の減少でございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 1億50,000千ほどあったのが1億30,000千、理屈はわかります。建設費用が終了してしもたんで、1億30,000千になったという。お伺いしたいのは、一通り済んでしても1億30,000千ぐらいの予算がずっと推移してい

くと予想しているのかということをもまず1点聞きたい。

それから、いま1点、どんどん年間100人ぐらいずつ人口が減少していくと。その減少に伴って、結局1人頭の負担金が理論的には高くなっていく。人口減少が将来予算に及ぼす影響というものを、5年とか10年で結構です。5年から大丈夫ですよなら、それで結構なんですけれども、ずっと先へ行ったら、3,000人とか5,000人という人口になったら話は別だと思えるんですけども、ここ5年、10年ぐらいは1億30,000千ぐらいでずっと行くんやよというんか、人口減少はどう影響するかということをも1つお聞かせください。

それと、一通り終わってしもうて、近い将来に大きな投資の必要性、1億30,000千で、30,000千、40,000千超すような投資の建設費とかの必要性はないんか。

以上、3点についてご答弁をお願いします。

○議長（高野正君） 上下水道課長。

○上下水道課長（大江裕君） お答えします。

予算の規模についてですけれども、5年、10年のスパンでは1億30,000千程度で推移すると現在のところ考えております。

人口減少に伴うことなんですけれども、公共下水道についてはしばらくの間接続もだんだんふえていくような格好になるかと思えます。議員言われるように、物すごい長いスパンで見ると、減ってくるという可能性はあるとは思いますが、5年、10年のスパンでは同じような推移を見せるのかなという考えです。

将来の投資についてですけれども、施設のほう、順次修繕とか取りかえを行っておりますので、今のところ大規模な施設の改修というのは予定してございません。

以上でございます。

○議長（高野正君） 9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 今回の課長の説明、よくわかりました。いま一つ、ついでにそれに関連して聞いておきますけれども、向こうの浜ノ瀬の公共下水の土地に大きな事務所余っていますよね。当初、上下水道課があそこへ移るといような話あったんですけども、もう全く、結局つくったままで使わず、将来も使う予定のないままという判断でいいんですか。

○議長（高野正君） 上下水道課長。

○上下水道課長（大江裕君） 当初、そういう予定であったというのは聞き及んでおります。今のところ、おっしゃるように事務所のスペースはございますけれども、上下水道課自体が松原浄化センターへ行って業務をするという予定はございません。ただ、将来的にどうかと言われると、それは将来的なことなんで、ちょっと難しい面もあると思えるんですけども、今のところしばらくの間は、そちらで業務をする予定はございません。

以上でございます。

○議長（高野正君） 9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） これは、課長というより町長のほうにちょっと一言。

過去に、教育委員会のほうが狭いんで、この3階に部屋を移してはどうかという話がありました。もしそういうことでここが手狭になってくるようなことがあったら、あそこあいているんやということを頭の隅へとめ置いていただきたいなど、それだけでございます。ご答弁は結構です。

○議長（高野正君） ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第4号 平成29年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第4 認定第5号 平成29年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第5号 平成29年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

平成29年度介護保険特別会計の規模は、歳入総額8億11,700,594円で、前年度8億24,658,922円と比較して、12,958,328円の減額、率にして1.57%減少しています。

歳出総額は7億89,828,649円で、前年度8億7,604,202円と比較して17,775,553円の減額、率にして2.20%減少しています。差引額21,871,945円は実質収支額となります。

1、2ページ、収入の状況について、歳入の予算額は8億25,789千円、収入済額は8億11,700,594円で、予算に対する収入割合は98.29%でございます。調定額8億13,923,574円に対する割合は99.73%です。

5ページ、保険料、介護保険料の歳入額は1億60,295,290円で、前年度と比較して3,406,960円の増額となりました。主な要因は被保険者数の増加によるものです。調定額1億62,518,270円に対する徴収率は98.63%です。

平成29年度不納欠損額として42件、406,450円を欠損処分いたしました。

使用料及び手数料の歳入額は9,300円で、前年度と比較して400円の増額でございます。

国庫支出金の歳入額は1億87,081,351円で、前年度と比較して11,208,050円の減額となりました。その内訳は、国庫負担金では介護給付費負担金1億31,345,141円、国庫補助金では、調整交付金51,042千円、介護保険事業費補助金460千円、地域支援事業交付金の介護予防・日常生活支援総合事業分は2,815千円、介護予防・日常生活支援総合事業以外分は1,419,210円でございます。前年度と比較して、介護保険事業費補助金が240千円、地域支援事業交付金の介護予防・日常生活支援総合事業分は2,365千円の増額でしたが、国庫負担金介護給付費負担金で6,502,260円、国庫補助金調整交付金が3,075千円、地域支援事業交付金の介護予防・日常生活支援総合事業以外分は4,235,790円の減額となりました。

支払基金交付金の歳入額は2億4,919千円で、前年度と比較して7,717千円の減額となりました。これは、介護給付費交付金及び地域支援交付金の合計でございます。

7ページ、県支出金の歳入額は1億12,119,230円で、前年度と比較して3,122,270円の減額でございます。

財産収入の歳入額は16,010円で、前年度と比較して694円の減額でございます。

繰入金の歳入額は1億30,175,828円で、前年度と比較して634,232円の増額でございます。

9ページ、繰越金の歳入額は17,054,720円で、前年度と比較して6,013,389円の増額でございます。

諸収入の歳入額は29,865円で、前年度と比較して965,295円の減額でございます。

次に、歳出の状況について申し上げます。

3、4ページに戻っていただきまして、歳出総額は7億89,828,649円で、前年度と比較して17,775,553円、2.20%の減額でございます。

歳出予算額8億25,789千円に対し95.65%の執行率でございます。

11ページ、総務費の歳出額は36,869,959円で、前年度と比較して5,946,582円の増額となりました。主な要因は、第7期介護保険事業計画策定に係る委託料の増加によるものでございます。

保険給付費の歳出額は7億21,812,007円で、前年度と比較して30,010,641円の減額となりました。主な要因は、施設介護サービス受給者の減少によるものでございます。その内訳は、介護サービス等諸費6億47,187,014円、その他諸費606,265円、高額介護サービス費17,101,050円、高額医療合算介護サービス等費2,402,246円、特定入所者介護サービス等費26,814,900円、介護予防サービス等諸費27,700,532円でございます。

15ページ下段の地域支援事業費の歳出額は12,961,827円で、前年度と比較して2,989,630円の減額でございます。

19ページ、基金積立金の歳出額は10,016,010円で、前年度と比較して

9,999,306円の大幅な増額となりました。これは、29年度で10,000千円を積み立てたことによるものでございます。

次に、諸支出金の歳出額は8,168,846円で、前年度と比較して721,170円の減額となりました。内容は、前年度の精算分で、国、県、支払基金への償還金でございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 介護サービス料がここに入っておりますので、ここで聞くのが適切だと思って伺わせてもらいます。

ヘルパーさんが家庭を訪問して、一番苦になんの何なというたら、全家庭じゃ決してございませぬけれども、非常に、あなたのおかげでと感謝を持って対応してくれる人もたくさんおられるそうです。ところが、わしは金出して雇っているんやと、すごく傲慢というか横柄というか、そういう、サービスを受けられる方もおられるやに聞いています。

町として、ヘルパーさんにとってそれが非常に苦痛になっているというような、現場はつらいんやなという認識はまず持つておられるんかどうかお伺いしたいです。

○議長（高野正君） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（中村幸嗣君） お答えします。

現場の状況については、極端な行為があった場合は報告等が入ってきますが、目立って、議員の言うヘルパーさんがそういった苦痛な目に遭ったというふうな極端な事例は、町のほうでは把握しておりません。

以上です。

○議長（高野正君） 9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 把握できていないということなんですけれども、町外でヘルパーさんで働いておられる方に、あまり美浜町の中のは、荒過ぎるんで、町外の方に聞いたんです。やっぱりそれだと言うんです。やっぱりヘルパーさんは辛抱しておられるんだと思います。ささいなことなんで、許容範囲の中やということで抑えているかもわかりませぬけれども、担当課として、ヘルパーさんにそういうところが非常に苦痛になるなという認識だけは持つていてあげてほしい、理解してあげてほしいと思います。

それから、いま一つ、きのうの話じゃないですけども、生涯学習を教育のほうへやって、しかも生涯学習の後ろにスポーツだけつけて、それでええんやというて思っているさかいに、こういうようなトラブルが出てくるんじゃないですか。教育課に質問じゃないですけども。

やっぱり介護保険というものは、こういう性格のもので、介護保険をサービスする側はこういう気持ちでサービスせないかん、受ける方も、やっぱりこういうところは心得ないかんということ、それ、なんですよ、出前講座でもあったら要望します、そんなことやっていたら、いつまでたっても住民のところへ本当のものが届かん。結局、感謝のない

というんは、その人の人生そのもの、本人の人生そのものも暗いものにしてしまう。やっぱり、生涯学習というものの重要性というのは、そんなところからもうかがえるんじゃないですか。それは認識として持っておいてもうてほしいですけども、担当課として、今言っているように、そういう現場があると。ヘルパーさんに行かれる方にそれなりの配慮、またお声がけなんかしてあげてやってほしいなと思います。

それは切にお願い。何か答弁あったら、ぜひいただきたいです。

○議長（高野正君） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（中村幸嗣君） そういった事例については、例えばケアマネジャーさんとかがそういった状況を把握しておりますので、逐一はケアマネジャーさんと連携を密にしながら今後も対応していきたいと思っております。

以上です。

○議長（高野正君） 9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 課長、その回答は間違っているとはゆめゆめ思っておりません。でも、そういうことがあるという前提で臨んでいただきたい。お願いとして言っておきます。

○議長（高野正君） 一言申し上げてよろしいか。

今、田淵議員が前段でおっしゃった地域包括支援センターの皆さん、非常に頑張っておられまして、本当に、悪口というのはほとんど聞かないです。やっぱり、あの人が来てくれて助かっているよというのを、褒めることが非常に多いので、私も胸を張れますので、そういうことを皆さんにも報告しておきます。

以上ですが、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第5号 平成29年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第5 認定第6号 平成29年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第6号 平成29年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

平成29年度後期高齢者医療特別会計の規模は、歳入総額が2億2,660,099円で、前年度1億88,720,432円と比較して、13,939,667円の増額、率

にして7.39%の増加でございます。

歳出総額は2億987,699円で、前年度1億87,467,832円と比較して13,519,867円の増額、率にして7.21%の増加でございます。差引額1,672,400円は実質収支額です。

1ページ、2ページ、歳入の状況について、歳入の予算額2億4,580千円、歳入額は2億2,660,099円で、予算に対する収入割合は99.06%でございます。調定額に対する歳入額の割合は100%です。

3、4ページ、歳出の状況につきましては、歳出総額は2億987,699円で、歳出予算額2億4,580千円に対して98.24%の執行率でございます。

5、6ページ、後期高齢者医療保険料の歳入額は67,760,800円で、前年度と比較して7,167,400円の増額でございます。調定額に対する徴収率は100%です。

分担金及び負担金の歳入額は784,800円で、人間ドックの健診に係るもので、前年度と比較して255,600円の増額でございます。

使用料及び手数料の歳入額4,400円は、督促手数料です。

繰入金の歳入額は1億32,779,785円で、前年度と比較して7,966,376円の増額でございます。その内訳としまして、事務費繰入金が16,928,895円、保険基盤安定繰入金27,226,890円、療養給付費繰入金88,624千円でございます。

繰越金の歳入額は1,252,600円で、前年度と比較して291,900円の増額でございます。

7、8ページ、諸収入の歳入額77,714円で、前年度と比較して1,744,809円の減額でございます。要因は、過年度分療養給付費負担金返還金の皆減によるものでございます。

歳出についてですが、9、10ページ、総務費の歳出額は1億94,718,373円で、前年度と比較して9,072,944円の増額でございます。増額の主な要因は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額によるものでございます。

諸支出金の歳出額は6,269,326円で、前年度と比較して4,446,923円の増額でございます。要因は、過年度分療養給付費負担金償還金が皆増したことによるものでございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。10番、中西議員。

○10番（中西満寿美君） これは、毎回黙って反対をしてきたんですけども、やっぱ

り理由を言わなあかんなどということで、反対の立場で討論に参加します。

なぜ反対かということ、後期高齢者医療制度というのは10年を経過しまして、定着していると、こういうふうに判断をされておりまして、私の意見なんかは、ごまめの歯ぎしりに似たような感じですけども、しかし、自分が実際後期高齢者になりまして、やっぱり高齢者って差別されているなというのを実感したわけです。

何かといいますと、一般質問で健康寿命の大切さを質問されましたが、そのためには早期発見、早期治療ということが大事なんです、人間ドック、私は毎年受けていたんですが、国保の場合は、1日と1泊2日の2つがあるんです。ところが、後期高齢者になりますと、それは1日しかないんです。あと1泊はないんです。それともう一つは、ことしはあれですけども、来年から国の補助金がだんだんと減額をされてきます、人間ドックに対する。結局は、国の補助金がゼロになったら、これは一体、後期高齢の人、人間ドックを受けられるのかな。相当お金払ったら受けられるのかもわかりませんが、人生100年とか言われている割に、高齢者に対する対策は非常に冷たいなということです。

もう一つは、扶養家族になった方が、後期高齢者医療制度ができたときに、扶養家族から引き離されて後期高齢に入ったんですけども、そのときは9割、7割、5割の特別軽減というのが行われたんです。これも徐々に減額されて、やがてなくなっていきます。

こういうふうなことから、私は監査委員ですから、数字とかそういうことには反対するわけではないんですけども、制度そのものに反対するというので、私は手を挙げないということで述べさせていただきました。

○議長（高野正君） 賛成討論ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第6号 平成29年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第6 認定第7号 平成29年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長（大江裕君） 認定第7号 平成29年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてご説明申し上げます。

1ページ、2ページの収益的収入及び支出については税込みの表示となっております。収益的収入については、水道事業収益決算額1億38,592,031円、内訳は、営業収益1億19,533,727円、営業外収益19,058,304円で、予算に対する収入率は98.68%でございます。

収益的支出については、水道事業費用決算額1億31,380,386円、内訳は、営業費用1億18,694,315円、営業外費用12,686,071円で、予算に対する執行率は96.40%でございます。

次に、3ページ、4ページの資本的収入及び支出についても税込み表示となっております。

資本的収入については、決算額1,391,040円、内訳は、分担金1,391,040円で、予算に対する収入率は257.60%でございます。

資本的支出については、決算額54,544,205円、内訳は、建設改良費26,624,916円、企業債償還金27,919,289円で、予算に対する執行率は91.79%でございます。

また、資本的収入が資本的支出に不足する額53,153,165円については、当年度分損益勘定留保資金43,518,219円、当年度消費税資本的収支調整額1,869,176円及び建設改良積立金7,765,770円で補填してございます。

次に、5ページ、6ページの損益計算書については、前年度と整合を図るため金額は税抜き表示となっております。

営業収益の合計は1億10,717,033円、営業費用の合計は1億16,599,659円となりますので、差し引きしますと5,882,626円の営業損失でございます。

営業外収益の合計は18,963,315円、営業外費用の合計は7,746,199円となりますので、差し引きしますと、営業外利益は11,217,116円となり、営業外利益を営業損失に加算しますと、経常利益は5,334,490円、特別利益と特別損失はございませんので、当年度純利益は経常利益と同じでございます。

当年度純利益に前年度繰越利益剰余金とその他未処分利益剰余金変動額を加算いたしますと、当年度未処分利益剰余金は41,967,234円でございます。

次に、7ページ、8ページの剰余金計算書については、建設改良積立金当年度末残高は32,234,230円、減災積立金当年度末残高は8,000千円で、積立金合計は40,234,230円でございます。

未処分利益剰余金については、前年度末残高は99,324,743円で、資本金への組み入れ70,457,769円を処分し、当年度分未処分利益剰余金変動額7,765,770円と、当年度純利益5,334,490円を加算いたしますと、当年度未処分利益剰余金は41,967,234円でございます。

剰余金処分計算書（案）については、当年度未処分利益剰余金41,967,234円のうち資本金への組み入れ21,927,219円を処分し、翌年度繰越利益剰余金を20,040,015円にいたしたく提案するものでございます。

次に、9ページ、10ページの貸借対照表につきましては、これも前年度決算と整合性を図るため、金額は税抜きの表示となっております。

資産の部については、有形固定資産及び無形固定資産の固定資産合計は13億

71,773,449円でございます。

流動資産は、現金預金1億68,263,420円、未収金12,870,289円、貯蔵品2,444,494円で、流動資産合計は1億83,578,203円でございます。

資産合計は15億55,351,652円でございます。

負債の部については、固定負債合計は3億15,865,347円、流動負債合計は43,081,040円、繰延収益合計は3億13,734,507円で、負債合計は6億72,680,894円でございます。

資本の部については、資本金合計は7億68,234,080円、剰余金の資本剰余金は32,235,214円、利益剰余金は82,201,464円、剰余金合計は1億14,436,678円で、資本合計は8億82,670,758円でございます。

資産合計と負債・資本合計がそれぞれ15億55,351,652円で貸借が一致するものでございます。

次に、11ページ、12ページの議会議決事項については、予算議決等3件でございます。

工事概要については、施設改良費1件、配水施設改良費2件でございます。

次に、13ページ、14ページの業務量については、給水戸数は3,802戸、年間配水量は913,305^m₃、年間有収水量は864,943^m₃、有収率は94.70%でございます。

事業収益及び事業費用に関する事項については税抜き表示となっております。

事業収益合計は、前年度と比較して1,341,643円の増額、事業費用合計は、前年度と比較して6,667,299円の増額でございます。

企業債については、企業債前年度末残高3億78,601,958円で、本年度借入額はなく、27,919,289円を償還いたしましたので、本年度末残高は3億50,682,669円でございます。

一時借入金についてはございません。

次に、15ページから18ページの収益費用の明細については、損益計算書の資料でございます。

次に、19ページ、20ページの固定資産明細書については、資産の増減をあらわしたものでございます。年度当初の現在高は26億98,437,680円、当年度増加額は50,788,700円、当年度減少額は44,427,334円、年度末現在高は27億4,799,046円でございます。減価償却累計額の当年度増加額は53,727,587円、当年度減少額は14,339,253円、累計額は13億33,025,597でございます。

年度末現在高から減価償却累計額を差し引きしますと、年度末償還未済額は13億71,773,449円でございます。

次に、21ページの起債台帳については、未償還元金は3億50,682,669円でございます。

次に、22ページのキャッシュ・フロー計算書については、資金期末残高は1億68,263,420円でございます。

次に、23ページの注記については、重要な会計方針に係る事項でございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 水道事業だけが企業会計なんで、一般会計のほうも関連して伺いたいんですけども、貸借対照表9ページから10ページ、また19ページから20ページの固定資産明細書のところにあります土地という話でございます。

何期もやらせてもろうてそんなことも知らんのかと笑われそうなんですけれども、一般会計も含めて、将来は企業会計を取り入れてなっていくというよりも、あと四、五年したらなってしまうかなと当初思っていて、一般会計のほうもいまだに昔ながらの大福帳のやり方で、こっちには我々なれ親しんで、こっちの企業会計のほうは、貸借対照表なんかは非常に理解しにくいんでわからないんですけども、ここに土地の2億円、結局トータルで15億円の貸借対照表の中であらわしたら、総資産の中で2億円が土地でございます。地価というのは非常に変動いたします。私も農業をしておりますけれども、農地なんかは、私の財産なんか10分の1になってきたというか、そういうものでございます。

こういう貸借対照表で土地の価値というものは、土地開発公社のように買ったままの値段をずっと永久に最後まで資産として評価していくんか、それとも、現実というものは、実際問題土地というのは何年かで、固定資産税なんかは何年かに1回評価し直します。その新しく評価されたものを土地の評価として入れるんか。それは、水道会計だけじゃなしに、町のほうも、ここで議論する予算書とは別に貸借対照表もつくっておりますよね、最近は学校も、この土地の値段も。そこも含めて、町の資産というたとき、土地の取り扱いはどうなっているんかということについてご説明をお願いします。

○議長（高野正君） 上下水道課長。

○上下水道課長（大江裕君） お答えします。

水道事業会計の貸借対照表及び固定資産の明細書の土地の価格についてですけれども、当初の取得額で計上しております。評価額の見直しがあった場合に、そういうのは見直しがあるのかというご質問だったと思うんですけども、今のところ取得額で計上させていただいております。それについて、例えば、そういう見直しをするのが通常であるかどうかというのは勉強不足でわからないんですけども、今後の課題として勉強させていただきます。

以上でございます。

○議長（高野正君） 総務政策課長。

○総務政策課長（野田佳秀君） お答えいたします。

一般会計のほうでの財産に関する関係で、土地の評価ということですが、私自身把握しておるのは、土地について決算書の後ろのほうに出ています財産に関する調書で土地の面積とか所在地とか分類とか、そういったことについては把握のほうはしているんですけども、評価額までについては、ちょっと把握のほうができていないというふうに思っています。

○議長（高野正君） 9番、田渕議員。

○9番（田渕勝平君） ほんまに私がそういうところに無知なもので、こういう当ての外れた質問するんかもわかりませんが、それはどうなんですか、結局貸借対照表で町全体のことを将来ずっと見ていこうという方向というんは、結局町の資産をきちっと把握しようというような方向でそれが出てきたと思っているんです。そういうことからしてみたら、土地の価格という、急に最近地価が下がってきた中で、その地価に合わさんと、それこそ先ほどの話じゃないですけども、土地開発公社のように買ったままのやつを持って、うちとこ20億の資産があるんや、20億の資産があるんや。売ってみたら3億か4億しかなかったと、絶対現実とかかけ離れた結果になるん見えていて、そこのところを調整しないと。

わからなかったらわからなかったという答弁で結構なんですけれども、普通、企業も含めてここら辺のことは、買ったときの値段そのままずっと会社が終わるまでそういう計算していくのが常識なんか、それとも、一般企業は、変動相場制で、それなりに資産を見直しているのか、そこのところ、全くわからないんで教えてやってほしいと思うんですけども、いかがでしょう。

○議長（高野正君） しばらく休憩します。

再開は10時30分です。

午前十時一〇分休憩

——・——

午前十時三〇分再開

○議長（高野正君） 再開します。総務政策課長。

○総務政策課長（野田佳秀君） 貴重なお時間申しわけございません。

お答えさせていただきます。

公会計についてなんですけど、全ての会計においてなんですけれども、財務書類を作成しておりまして、その中の1つに水道事業と同様に貸借対照表をつくっております。そこに計上している土地についてですが、取得価格で計上しているところがございます。

以上でございます。

○議長（高野正君） 9番、田渕議員。

○9番（田渕勝平君） それは、結局一般会計のほうも水道会計同様現実をしかと把握する、結局町にどれだけの資産があり、どれだけのものがどんな格好で動いているということをするために一般会計も公会計にするという話が出てきたと思うんです。そう認識してお

ります。そして、流れとして見たら、当初言うたように早くは流れは変わりませんが、やっぱり企業会計のほうが主になっていくような話に、皆、理解しにくいので余り進まないらしいですけれども、そっちへ進んでいくとします。その目的というんは、要するに資産を正確に把握しようという目的ですよね。そういうことからしたら、国がそれを許してくれるんだしたら、それはもうそれとして、制度なんですからなんですけれども、国のほうもその土地のところは取得価格であって見直す必要はないよと。それなら不正確になってくると思うんですけれども、それでいいですよというような指導なんですか。結局現実的にはそういうものに従っているという形になるんですか。そこのところをご答弁お願いします。

○議長（高野正君） 総務政策課長。

○総務政策課長（野田佳秀君） お答えさせていただきます。

まず、一般会計の決算書の中の財産管理費の委託料の中に、財務書類作成業務委託がございます。金額については2,547,720円となっております。その財務書類作成業務というのが、総務大臣からの通知によりまして、統一的な基準により財務書類、4表なんです。それを原則地方公共団体において作成し、予算編成等に積極的に活用するという事となっております。そのルールに基づきまして、貸借対照表の中の土地については取得価格ということでございます。

以上でございます。

○議長（高野正君） 9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 結局、健全化判断比率のいわゆる財政指標、4つの表という、これも黒字ということで決算を受けたとしても、中には本当に黒字かどうか正確でないという理論になりますよね、現実的には。黒字であっても、もしかしたら地価が下がっているその分は、この中には反映されていないという可能性はありますよね、実際。それだけ、イエスかノーかだけお答えいただきたいと思います。

○議長（高野正君） 総務政策課長。

○総務政策課長（野田佳秀君） お答えいたします。

決算の中での健全化とはまた別のものとなります。この4表についてですが、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表となっているところでございます。

以上でございます。

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この剰余金処分及び決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員（挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第7号 平成29年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算については認定することに決定しました。

日程第7 議員派遣の件についてを議題とします。

お諮りします。

議員派遣の件については、地方自治法第100条第13項及び美浜町会議規則第128条の規定によって、お手元に配付しています議員派遣の件のとおり決定することにご異議ありませんか。

○議員 「異議なし」

○議長（高野正君） 異議なしと認めます。したがって、議員派遣の件については、お手元に配付しています議員派遣の件のとおり決定しました。

しばらく休憩します。

午前十時三十五分休憩

——・——

午前十時三十六分再開

○議長（高野正君） 再開します。

お諮りします。

ただいま各委員長から、委員会の閉会中の継続審査及び調査について申出書が提出されました。

これを日程に追加し、議題にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

○議員 「異議なし」

○議長（高野正君） 異議なしと認めます。したがって、委員会の閉会中の継続審査及び調査についてを日程に追加し、追加日程第8として議題とすることに決定しました。

追加日程第8 委員会の閉会中の継続審査及び調査についてを議題とします。

各委員長から、目下委員会において審査及び調査の事件について、会議規則第75条の規定によってお手元に配りました申出書のとおり、閉会中の継続審査及び調査の申し出があります。

お諮りします。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査とすることにご異議ありませんか。

○議員 「異議なし」

○議長（高野正君） 異議なしと認めます。したがって、各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査とすることに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

したがって、本日の会議を閉じます。

平成30年美浜町議会第3回定例会を閉会します。

午前十時三十七分閉会

お疲れさまでした。